



©まなびの広場 令和7年6月10日発行
偶数月10日発行
令和4年6月10日創刊 通算No.19

まなびの広場

— 子どもの未来を共に考える — VOL.19

6
2025

編集よりご案内

本号では、令和6年度事業報告・収支決算・評議員の改選にかかわる会務報告を始め、6月から開始されたオンデマンド研修の新規コンテンツを掲載いたします。

短期連載2回目では、保護者との関わりと生命の捉え方からみる子どもへのまなざしについて、経験談を中心に井桁容子氏にご執筆いただきました。

また、本号より2回にわたり、国立教育政策研究所幼児教育研究センター副センター長の掘越紀香氏に「幼児教育における保育実践の評価スケール案」の紹介と活用について執筆いただきます。

CONTENTS

短期連載②

『安心・安全な子ども主体の保育とは』

■ 井桁 容子氏 (乳幼児教育実践研究者・保育SoWラボ代表)

(一財)全日私幼研究機構理事長からのご報告

研修の深化と広がり、評価について

■ 安家 周一 (一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長)

理事会・評議員会・評議員選定委員会の会務報告

ECEQ® Hot News Vol.2

幼児教育の質と評価を考える①

「幼児教育における保育実践の質評価スケール案」の紹介と活用(1)

■ 掘越 紀香氏 (国立教育政策研究所幼児教育研究センター 副センター長)

機構からのお知らせ

令和7年度第2期オンデマンド研修22コンテンツが新たに加わりました!

「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト」を用いたオンデマンド研修

第16回幼児教育実践学会

～保護者との関わりを通して～

乳幼児教育実践研究家・保育SoWラボ代表／井桁 容子

「生命への畏敬」と保育のまなざし

かれこれ20年くらい経っているのでしょうか。日本保育学会の記念講演だったかと記憶しておりますが、初めて中村桂子先生（JT生命誌研究館名誉館長：理学博士）のお話を伺い、抑えきれない感動を覚えつつも、その内容を必死でメモした覚えがあります。保育者として子どもへのまなざし、関わりのある方を悩んでいるときだったので、「子ども一人一人を尊重する」という意味、その理由は「生き物としての特性を理解して尊重すること」にあったのだということとその時初めて確信が持てました。それ以降、保育や保護者との対応に迷いが生じた時は、“生命への畏敬の念へ自分の視点を戻して考えてみる”という習慣がつかえました。いいかえれば、「困った子ども」「困った保護者」と捉えている自分の視点を、その子どもや保護者をかけがえのない生命として尊んでみると、見え方が変わってくるので、自然に理解しようという温かいまなざしや関わりになってくることに気づかされたということです。つまり、子どもや保護者の問題ではなく、自分自身の見方に問題があったということになります。

保育者として重要な気づきを頂いたその中村先生と一昨年対談をさせていただくという夢のようなことが起こりました。緊張感は打ち合わせの段階から言葉にならないほどでした。しかし、中村先生の生命観を想えば、細胞レベルで、または地球上の生き物という大きなスケールでそのような私を受け止めていただけるはずという信頼が自然に湧き出てきて、夢のような時間を落ち着いて穏やかに、そして楽しくお話を交わすことができました。更には、私同様、困っている子どもや保護者が、安心して自分の思いを表現できる信頼関係を築いていくための役に立ちたいという思いを強めました。



(撮影：小西貴士)

困った保護者？

そして、中村先生と言えばセットで思い出さない訳にはいかない保育者時代に出会った一人の保護者がいます。

それは、初めての子育てに悩む一人のお父さんでした。お母さんは会社勤めでしたので、自営業だったお父さんが園への送迎を任されていました。入園当初から、「他の子と比べてうちの子は、…」と、何度も他の子どもと比較して、どうしたら他の子どもと同じことができるようになるか、という相談をされるのが毎日のようにありました。ついには、「うちの子どもの太ももは、他の子どもと比べて…」と、まだ1歳なのに体格までも比較し始めました。その上に、「早く〇〇ができるようになるにはどうしたらいいですか？」との質問攻めです。

さて、どのように対応すべきかと悩みました。その時に、中村先生のお話を思い出したのです。学会の時に書きとめた中村先生の言葉や考え方を引用しながら、「トンボと蝶々を比べても意味がないし、それぞれの良さを大切にしたいですね」「生き物は、過程が大事なので育て急がずに私たちと一緒に面白がりながら、お子さんの経験から学ぶ育ちを応援しましょう」というようなことを保育者としてというよりも、一人の人間の考えとして伝えたと記憶しています。

たまたまそのお父さんは昆虫好きだったので、私の昆虫のたとえ話が腑に落ちたようで、その後は、他の子どもと比較することも少なくなり、育て急ぐことも減りました。すっかりなくなりましたと申し上げたいところですが、そうは単純に変わらないのも人間です。(笑)ましてや、成果主義の教育が当たり前のように肯定された時代に子どもだった世代ですので、我が子の育てにも同じ考え方で接してしまうのは仕方ありません。そこで、送迎時のやり取りや連絡帳を介して、具体的な様子から見えてくるその子らしさ、異なった魅力を持つ他児との関わり合いの面白さや育ち合う関係のすばらしさとその世界の豊かさをていねいに伝え続けました。すると、お父さんの書く連絡帳の内容がどんどん変化して、子どものいたずらや親の失敗エピソードをイラスト付きで面白がって書いてくださるようになり、子どもへのまなざしが明らかに変わったことが分かりました。保育者のほうが毎日、連絡帳を読むのが楽しみになるほどでした。



「虫愛する姫」は「いのち愛する姫」

その親子が卒園して、10年くらい過ぎた頃にお父さんが突然、園に訪ねてきました。「娘は、おかげさまで彼女らしく成長しています。先生、在園していた時に、よく中村桂子先生の考えを話してくださいましたよね。そのことを思い出して、この本をご存じかなと思い…」と1冊の本を差し出しました。それは、『いのち愛する姫—ものみな一つの細胞から』（中村桂子・山崎陽子（作）／堀文子（画）／藤原書店／2007年）という本でした。そして、本のタイトルだけで心動かされました。「いのち愛する姫」?! おそらく生き物が好きな女の子が登場するということが予想できますので、きっとそのお姫様に大人が困らされる話かな?とワクワクしながら、中を開くと挿絵の美しさに心惹かれました。贅沢なことに、著名な日本画家の堀文子氏の挿絵ですから当然です。そして、お話は想像通り、虫好きの姫が侍女を困らせるくらいの虫好きで、手のひらに毛虫を乗せられる女の子が主人公でした。その姫がうたた寝しているときに夢の中で、バクテリアやミドリムシと会話をするという意外で面白い展開です。“女の子なのに虫が好きだなんて”と心配する侍女と現代の大人の姿が重なりました。この物語は、源氏物語と同じころに書かれている『堤中納言物語』のなかの「蟲愛する姫君」がもとになっているとのこと。

中村先生は解説の中で

「愛するは、美しいから愛するとか、自分の好みのままに好きになるという愛ではなく、時間をかけて本質を

見出した時に生まれる愛であり、知的な面がある」

「ヨーロッパで近代科学が誕生したのは17世紀ですから、それより600年も前に、科学の精神を持ったお姫さまが日本にいらしたというのは、なんともうれしいこと」

「小さな生き物が懸命に生きる姿を見つめ、それを愛することは、生き物を知る基本」

というようなことを述べています。

その昔から、「女の子なのに」という偏見を持って子どもを見ることを批判的に捉える感覚があったということに驚かされました。また、中村先生の解説から保育者としての子ども理解の原点を示されたようで、大変感動しました。同時に、この本に出合わせてもらえた保護者との出会いにも心から感謝しました。

「生る」ということ

直接お目にかかることができた中村先生との対談では、『いのち愛する姫』にも触れながら、「子どもたちと関わる時に大切なことは“生る”（なる）ということ」という言葉から、更なる学びをいただきました。「成る」ではなく「生る」は、その生き物の中にあるそのものらしく育とうとする力を信頼すること。「教えよう」「できるようにさせよう」とするのではなく、子ども一人一人が生活の中でその子らしく、感じて考えてやってみて分かっていく力があることを信頼して支え、応援や手伝いをしていくための環境作りや関わりや配慮から、次第にその人らしさに磨きをかけて「生る」を共に喜んでいくことではないかと、私なりに解釈しました。

ややもすると保育者が“困った親”とラベルを貼ってしまいがちな保護者に、私は一人の人間としての視野を広げていただきました。そして、昆虫好きという保護者のその人らしさから得た豊富な知識のおすそ分け、文章表現の上手さなどから保育者としての多くの気づきもありました。



床メンテナンス・張替え対応

あらゆる技術で、園の床に起こるさまざまな課題を解決!



園舎診断アプリ

園舎管理 保育DX



株式会社 エコテック



施工メーカーだからその安心安全の技術
対応エリア全国

園舎管理もプロにアウトソーシングする時代!
園舎管理を「属人化」から「仕組み化」へ

修繕計画のセカンドオピニオンとして活用しませんか? /



令和7年度 積極受付中

安全 健康とケガ(ササクレ)のリスクに備える ※コーティング種類による
歩きやすく転びにくいノンスリップ仕様

負担減 清掃負担軽減 維持費負担軽減

日々のワックスは時間的にも体力的にも負担がかかりますがコーティング施工済みの床なら職員の方の清掃やメンテナンスの負担を軽減できます。

フリーダイヤル 0120-963-093

全国対応



eep 園児の床 HP

研修の深化と広がり、評価について

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 安家 周一



1) 務めた園によって「研修に行ける園と行けない園がある」という現実

自園の話で大変恐縮ですが、近年起こった困ったことを披瀝します。他園で働いていた保育教諭が当学園の採用試験に応募してきました。前職が同じ大阪府内の園からの応募で顔見知りでもありましたので、念のため園長にきちつと話をしているかなどを確認し受験を許可しました。採用となり当法人で働き始めて2年になります。熱心に業務に取り組み、施設型給付の処遇改善等加算を検討したところ、研修要件に問題が発生しました。当該職員に事情を聴いてみると、前園では外部の研修には全く出向くことはなく、園内でも学びの機会はほとんどなかったとのこと。「研修ハンドブックは?」の質問に、「何のことかわかりません…」の返事でした。結果的に、要件を満たすべく研修に出向かせ受講をし、要件は満たされました。

大阪府の連盟には400余の園が加盟しています。経常費補助金の園も25%くらいあり、処遇改善にはあまり関心がなかったようなのですが、それと研修を受けられていないこととは話が別です。私立の園ですから、その園その園で方針があってしかるべきではありますが、幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領は法律で定められたものですし、教職員の資質が向上するためには学びが何よりも大切であることは波状的に様々な媒体を使ってお伝えしているつもりでしたが、私の認識は不足していました。私学助成園においても、教育支援体制整備事業費交付金による半額補助ではありますが月額9,000円の処遇改善はすでに実施済で、今年度から研修修了要件(現時点で詳細不明)が必要な処遇改善の実施が決まっています。

2) 私たちは私立ではあるけれど公的な施設である

私達は「私立」幼稚園です。学校教育法第1条に規定されている公的な施設です。そういう意味では「プライベート

ト=私」ではなく「パブリック=公的な施設」なはずですよ。ですから補助金や税制でも様々な優遇措置があります。私だからといって教職員に研修も受けさせないなどは、許されることではありません。

全国の多くの園が「施設型給付」の範疇に入る園となりつつあります。会計士の監査や自治体の監査が定期的に行われ、事業計画・報告から予算・決算、職員の資質向上状況や処遇に至るまで様々な指導をいただけます。保護者に対しても運営状況などを開示することができ、園への理解もより深まります。

3) 機構のこれから__研修と評価

当機構は今後、公益法人格の再取得に臨みます。そのためには、当機構組織体の運営が健全であり、安定していることが要件の1丁目1番地です。そして、各園の資質向上に取り組む研修体制が確立され、教職員が研修を主体的に取り組む、知識技能を磨く様を見せることが大切です。全日私幼連に加盟して当機構に紐づいている園は、切磋琢磨して学びが多い園ばかりだ、と認めていただけるよう、3月にはオンデマンド研修59コンテンツ、6月からオンデマンド研修22コンテンツの整備が完了しました。研修内容も旧態依然としているなどと幻滅させることがないように新規コンテンツの作成にも取り組んでまいります。

また、各園の質向上にむけた取組が正当に評価され、さらなる質向上へつながらよう評価の実施団体としての一翼を担ってまいりたいと考えます。そして、今年度の幼児教育実践学会は東京家政大学で実施されます。現場の素朴な試みや悩み、試行錯誤を発表し合い、語り合える学会にしたいと学会の運営を担当するチームの熱量は高く準備が進んでいます。ぜひ皆様方と東京家政大学でお会いできると嬉しいです。

私たちは幼児教育用品を通じ、幼児教育の質の向上に貢献します。

Gakken

ひかりのくに

フレーベル館

世界文化

JAKUETS

Child
チャイルド本社

令和6年度事業報告・収支決算などを承認 評議員改選へ

●4.8第1回評議員会

4月8日、第1回評議員会がオンラインにて開催され、評議員10人が出席しました。安家周一理事長のあいさつの後、出席した評議員の互選により関岡貴之評議員が議長に選任され、議事録署名人に浅利健自評議員、奥田一品評議員が選任されました。なお、議事内容の詳細は3月17日に開催された第4回理事会（まなびの広場4月号vol18掲載）の承認・報告内容通りです。

【決議案件】

1. 評議員選定委員会構成員選任の件

令和7年5月に開催する定時評議員会をもって、現評議員の任期が終了することにもない、次期評議員の選任の手順について事務室より説明がありました。評議員選定委員会のうち評議員代表について、岡部圭二評議員が構成員として互選され、審議の結果、賛成多数により承認されました。

【報告案件】

1. 令和6年度補正予算の件
2. 令和7年度パートナーシップ協定別紙の件
3. 令和7年度事業計画の件
4. 令和7年度収支予算の件
5. 賛助会員入会の件
6. 理事会からの執行報告

●5.12第1回理事会

5月12日、第1回理事会が対面とオンラインの併用にて開催され、理事18人が出席しました。安家理事長が議長となり、議事録署名人は土居孝信理事、山西幸子理事が選任されました。議事内容は以下の通りです。

【決議案件】

1. 令和6年度事業報告及び収支決算の承認の件^(注1~4)

岡本潤子教育研究委員長、高尾恵子広報委員長、私より令和6年度事業報告について説明をし、事務室より令和6年度収支決算について説明がありました。また、安西透監事より監事監査報告がありました。審議の結果、事業報告・収支決算いずれも満場一致をもって承認されました。

2. 基本財産の取崩の承認の件

事務室より基本財産の取崩について説明があり、審議の結果、満場一致をもって承認されました。

3. 評議員候補者選任の件

評議員選任にかかる手続きについて、事務室より説明

があり、また、私から各候補者についても説明しました。審議の結果、原案の一部を除き、評議員選定委員会に推薦することが、満場一致をもって承認されました。

4. 委員解任及び選任の件

委員の選任と解任にかかる手続きと該当者について、事務室より説明があり、審議の結果、満場一致をもって承認されました。

5. 育児・介護休業規程の変更の件

育児・介護休業規程の変更について事務室より説明があり、審議の結果、満場一致をもって承認されました。

6. 令和7年度第2回評議員会開催の承認の件

議長より、第2回評議員会開催について説明があり、審議の結果、満場一致をもって承認されました。

【報告案件】

1. 業務執行理事からの執行報告の件

各業務執行理事から業務執行状況の報告がありました。

●5.13評議員選定委員会

5月13日、評議員選定委員会がオンラインで開催され、定款第11条第6項に基づき委員の過半数が出席し、外部委員1名以上が出席していることを確認しました。出席した委員の互選により安西透委員が議長として選任され、議事録署名人には岡部圭二委員を選任しました。

【決議案件】

1. 評議員の選任について

安家理事長より、評議員の選任方法と候補者について説明がありました。審議の結果、満場一致をもって承認されました。選任された評議員は次の通りです。

- 大林 晃（北海道・網走）
- 後藤 裕美（山形・東北文教大学付属）
- 金子真理子（千葉・古和釜）
- 永保 貴章（神奈川・田名）
- 関岡 貴之（東京・多摩みゆき）
- 加藤 義彦（愛知・名古屋あかつき）
- 清川かつ美（奈良・登美が丘カトリック）
- 岡部 圭二（大阪・高槻双葉）
- 佐野 太（山口・小野田めぐみ）
- 檜村 誠（香川・のぞみ）
- 蘭田 直章（長崎・西諫早）
- 淀川 裕美（千葉大学教育学部）
- 請川 滋大（日本女子大学家政学部）
- 椋田 善之（関西国際大学教育学部）
- 上田 敏丈（名古屋市立大学大学院）

●5.28第2回評議員会

5月28日、第2回評議員会が対面とオンラインの併用にて開催され、評議員11名が出席しました。安家理事長のあいさつの後、出席した評議員の互選により清川かつ美評議員が議長に選任され、議事録署名人に水原紫乃評議員、坂本美代子評議員が選任されました。なお、議事内容の詳細は5月12日に開催された第1回理事会の承認・報告内容通りです。

【決議案件】

1. 令和6年度事業報告及び収支決算の承認の件^(注1~4)
2. 基本財産の取崩の承認の件

上記の決議案件は審議の結果、いずれも満場一致をもって承認されました。

【報告案件】

1. 評議員候補者の選任の件
2. 委員解任及び選任の件
3. 育児・介護休業規程の変更の件
4. 理事会からの執行報告の件

(専務理事 加藤篤彦)



令和6年度事業報告及び収支決算について

(注1) 令和6年度事業報告書



(注2) 令和6年度正味財産増減計算書



(注3) 令和6年度貸借対照表



(注4) 令和6年度財産目録



Hot News Vol.2



ECEQ[®]コーディネーターとは？

ECEQ[®]コーディネーターはECEQ[®]を実施する園が良さや課題を自ら見つけだせるよう、また、質向上への取り組みを主体的に進められるようにナビゲートする有資格者のことです。

ECEQ[®]コーディネーターとなるには、養成講座を受講しECEQ[®]の実施の流れや実施園に寄り添うファシリテートスキルを学ぶ必要があります。



令和7年度ECEQ[®]コーディネーター養成状況について

令和6年度末をもって新たに67名をECEQ[®]コーディネーターとして認定し、現在のECEQ[®]コーディネーターは461名となりました。

さらに、令和7年度は新規に74名の養成講座の受講申請があり、5月1日より養成講座がスタートしています。ECEQ[®]コーディネーターに興味がある！なりたい！という方は、令和8年度の受講申請開始をお待ちください。今年度はECEQ[®]実施園での公開保育の参加者としてECEQ[®]を体験してみてくださいはいかがでしょうか？

ECEQ[®]について詳しく知りたい方はこちら



一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

収支計算書

令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
事業活動収入の部				
1 基本財産運用収入	53,000	63,303	△ 10,303	
基本財産運用収入	52,000	61,929	△ 9,929	
特定財産運用収入	1,000	1,374	△ 374	
2 会費収入	48,900,000	48,946,800	△ 46,800	
賛助会員会費収入	48,900,000	48,946,800	△ 46,800	
3 事業収入	117,900,000	98,572,129	19,327,871	
資質向上事業収入	117,900,000	98,572,129	19,327,871	
幼児教育実践学会収入	5,600,000	5,695,491	△ 95,491	
ECEQ®事業収入	3,300,000	3,700,000	△ 400,000	
その他資質向上事業収入	89,000,000	89,176,638	△ 176,638	
システム利用料収入	20,000,000	0	20,000,000	
調査研究事業収入	0	0	0	
4 補助金収入	0	0	0	
5 寄付金収入	0	20,000,000	△ 20,000,000	
研修受講・履歴管理協力金	0	20,000,000	△ 20,000,000	
6 雑収入	2,323,500	2,344,092	△ 20,592	
受取利息収入	40,000	47,085	△ 7,085	
印税等収入	750,000	753,589	△ 3,589	
広告収入	813,500	823,418	△ 9,918	
その他収入	720,000	720,000	0	
事業活動収入計	169,176,500	169,926,324	△ 749,824	
事業活動支出の部				
1 事業費	131,500,000	133,277,936	△ 1,777,936	
資質向上事業支出	33,300,000	34,322,828	△ 1,022,828	
幼児教育実践学会	4,400,000	4,438,826	△ 38,826	
全国研究研修担当者会議支出	800,000	656,131	143,869	
ECEQ®事業	1,100,000	1,033,633	66,367	
その他資質向上事業支出	27,000,000	28,194,238	△ 1,194,238	
調査研究事業支出	0	0	0	
家庭・地域教育力向上事業支出	52,500,000	52,434,549	65,451	
情報誌発行	52,500,000	52,434,549	65,451	
国際交流事業支出	0	0	0	
機関誌発行事業支出	5,200,000	5,177,113	22,887	
教員免許更新講習事業支出	200,000	124,141	75,859	
委員会開催事業支出	5,100,000	4,441,023	658,977	
広報委員会	1,100,000	1,043,863	56,137	
教育研究委員会	2,400,000	2,016,329	383,671	
研修チーム	250,000	194,872	55,128	
ECEQ®・評価チーム	1,000,000	906,206	93,794	
ゆたかなまナビオンデマンドチーム	250,000	195,170	54,830	
ゆたかなまナビシステムチーム	100,000	84,583	15,417	
事業関係人件費支出	18,400,000	20,218,763	△ 1,818,763	
事業関係事務費支出	16,800,000	11,559,519	5,240,481	
寄付金支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	
2 管理費	16,850,000	16,844,360	5,640	
総務費支出	3,050,000	2,908,488	141,512	
理事会	1,100,000	1,029,277	70,723	
評議員会	250,000	210,799	39,201	
監事会	400,000	310,384	89,616	
諸会議費	1,300,000	1,358,028	△ 58,028	
人件費支出	4,600,000	5,054,680	△ 454,680	
事務費支出	4,200,000	8,881,192	△ 4,681,192	
寄付金支出	5,000,000	0	5,000,000	
事業活動支出計	148,350,000	150,122,296	△ 1,772,296	
事業活動収支差額	20,826,500	19,804,028	1,022,472	
II 投資活動収支の部				
投資活動収入の部				
1 基本財産引当資産繰戻収入	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動収入計	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動支出の部				
1 特定資産繰戻支出	986,100	986,100	0	
退職給付引当資産繰戻支出	986,100	986,100	0	
2 什器備品購入支出	5,500,000	5,401,000	99,000	
ソフトウェア支出	5,500,000	5,401,000	99,000	
投資活動支出計	6,486,100	6,387,100	199,000	
投資活動収支差額	△ 1,486,100	△ 1,387,100	△ 199,000	
III 予備費支出	50,000	0	50,000	
当期収支差額	19,290,400	18,416,928	873,472	
前期繰越収支差額	62,798,361	62,798,361	0	
次期繰越収支差額	82,088,761	81,215,289	873,472	

収支計算書に対する注記

- 資金の範囲について
資金の範囲には現金預金、未収入金、前払金、仮払金及び未払金、前受金、仮受金、預り金を含めております。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載のとおりです。
- 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。

科目	前期残高	当期末残高
現金・預金	61,438,323	82,299,131
未収入金	5,108,027	100,000
前払金	91,960	47,960
合計	66,638,310	82,447,091
未払金	2,645,098	240,587
前受金	900,650	807,850
預り金	294,201	183,365
合計	3,839,949	1,231,802
	62,798,361	81,215,289

幼児教育の質と評価を考える①

今号より2回にわたり、国立教育政策研究所幼児教育研究センター副センター長の掘越紀香氏に「幼児教育における保育実践の質評価スケール案」についてご紹介いただきます。幼児教育の質とその評価について知ると共に日々の実践を見つめなおすきっかけとなれば幸いです。

「幼児教育における保育実践の質評価スケール案」の紹介と活用(1)

国立教育政策研究所幼児教育研究センター 副センター長／掘越 紀香

はじめに

保育観察の際、皆さんはどのような視点で観察されますか。園の研究テーマや自分の関心事、保育者と子供とのやりとり、環境構成等の視点から、目前で展開されている保育実践を捉えようとされることでしょうか。その「保育をみる」視点の一つとして、国立教育政策研究所の「幼児教育における保育実践の質評価スケール案（以下「質評価スケール案」と記載。）」を活用できないかと考え、平成29～令和4年度プロジェクト研究「幼児期からの育ち・学びとプロセスの質に関する研究」から、プロセスの質に着目した「質評価スケール案」を御紹介します。

幼児教育・保育の質、質評価スケール案作成の経緯

幼児期の教育の質が生涯に渡って影響することは、海外の長期縦断研究によって示され、OECDの幼児教育ネットワーク会合では、全ての子供に力強い人生の始まりを保障することを目指したスターティング・ストロング・プロジェクトを1998年に始動しました。日本では、幼児教育・保育の重要性への認識が高まり、2019年幼児教育の無償化が実現し、現在は全ての子供に質の高い幼児教育を保障することが目指されています。幼児教育・保育の質には、「構造の質」、「プロセスの質」、幼児教育・保育を受けた「子供の育ちと学びの姿の質(アウトカム)」等が挙げられます。構造の質は保育環境や保育者の配置基準等、プロセスの質は保育者と子供との相互作用の在り方や子供同士の仲間関係等です。また、幼児教育・保育の質評価は、社会文化的な背景や制度、政策的な影響等を受けるため、複雑で多層的、多面的です。国際的な子供のウェルビーイングの重視や、経済格差、社会変動等の流れの中、今後の質評価において考えるべき課題も変化していく可能性が指摘されています^(註1)。

質評価への関心の高まりに伴い、幼児教育・保育の質を捉えるための試みとして、海外では質評価スケール、例えばECERSやSSTEW、CLASS等、様々なスケールが開発されています。日本でも、海外の質評価スケールに加え、保育者の自己評価チェックリストや、公開保育を活用した質向上システムECEQ[®]等も開発されています。海外の質評価スケールの活用には大きな意義が認められる一方で、文化的な違い等を考慮し、慎重に取り扱うことが求められます。そこで、日本の幼児教育・保育の文化・文脈を踏まえた質評価スケールの開発が必要と考え、プロジェクト研究で取り組みました。日本

の幼稚園教育要領や保育所保育指針等の内容を参考に、ECERS-3やECERS-E、特にSSTEWの保育プロセスの質に関する項目や指標を部分的に取り入れ、日本の幼児教育・保育の文化・文脈に沿った質評価スケールの開発を目指しました。研究目的で使用可能な質評価スケールであると共に、保育現場では保育実践を捉えたり振り返ったりするための観点の一つとして提示でき、保育実践の質向上に寄与することも目指しました。

質評価スケール案の方法や特徴

方法として、10園21クラスで試行の質評価スケール調査と、保育者や園の管理職14名へのヒアリングを行い、プロジェクト研究のWGメンバーで質評価スケール案を検討・開発しました。質評価スケール調査では、質評価スケール案(9項目112指標)を用いて、3歳児から5歳児の1クラスを対象に、研修を受けた評定者が複数で、室内戸外の全ての場所を3～4時間保育観察し、保育者インタビューも行いました。質評価スケール案の項目・指標の特徴は、プロセスの質を重視しており、「子供の主体的な関わり」「社会情緒的な育ち」「学びの芽生え」に着目しています。幼稚園教育要領等で示される五領域や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえていますが、全てのねらいや内容は網羅できていません。質評価スケール案の9項目は、以下の表の通りです。

表 「幼児教育における保育実践の質評価スケール案」9項目

項目Ⅰ	健康と安全への配慮と指導 (子供の健康、衛生、安全のため、保育者が配慮し指導している内容)
項目Ⅱ	社会情緒的な育ちを促す援助 (応答的に関わり、子供の社会情緒的な育ちを促している内容)
項目Ⅲ	主体的な遊びや活動の援助 (子供が主体的に遊び、活動するように促し支えている内容)
項目Ⅳ	好奇心を育む環境構成 (子供の興味・関心を促し、好奇心を高めるような環境を構成する内容)
項目Ⅴ	人とのコミュニケーションや言葉の援助 (子供が人とやりとりして、自分の考えを伝え、話し合い、言葉を使用するように促している内容)
項目Ⅵ	言語的な表現の援助 (絵本・物語・歌・言葉遊び等の遊びや活動を通して、子供の言語的な表現を育み促している内容)
項目Ⅶ	数量・図形や科学への興味・関心、感覚の援助 (子供の身近な自然や数量・図形、科学への興味・関心や感覚、考え方を育み促している内容)

項目Ⅷ 思考し探究するプロセスの援助

(子供が考えながら作ったり調べたりして、探究しようとすることを支え広げていく内容)

項目Ⅸ 協同や課題解決に向かうプロセスの援助

(子供たちが協同して取り組み、課題を解決しようとすることを支えていく内容)

質評価スケール案の評定方法は、基本的に各指標をYESかNOでチェックし、YESとNOの数に基づいて評点を出します。各自の評定後、複数の評定者間の協議によって確認・修正し、インタビューや評定者による見直しを経て、評点を確定します。評定システムにより各項目は、1：要改善、3：まあまあ良い、5：良い、7：非常に良い、の7段階で示されます。

質評価スケール案の項目と指標の例

：項目Ⅳ 好奇心を育む環境構成

例として、「項目Ⅳ 好奇心を育む環境構成」を取り上げます。項目Ⅳの概要は、「遊びや生活を通して、子供は身近な環境と出会い、ものや人への興味・関心が芽生える。興味を持った環境に対し、子供は主体的に関わり、様々な関わり方を試したり工夫したりすることを通して、興味・関心を深め、探究するようになる。保育者は、一人一人の子供の発達や興味・関心によって、環境との関わりが異なることを踏まえつつ、子供の好奇心を育み、興味・関心を広げ深めるような環境を構成することが大切である」です。評価の観点は、「子供が様々な環境と出会い、興味・関心を持って関わるように、保育者が工夫して環境構成や再構成をしているか、子供と一緒に環境を整えたり創ったりしているか、子供なりのやり方や工夫を認め、好奇心や探究心を高めるような環境や援助になっているか等に焦点を当てる」としています。

3のレベルの指標に「3-4 保育者は、遊びや活動の場を用意するとき、子供が興味・関心を持てるように素材や教材等を一緒に準備している」とあります。続いて「子供は、興味・関心に基づいて遊びや活動を選択しているが、保育者と一緒に取り組むことにより、更に興味・関心を持つようになる。保育者は、遊びや活動を始める際やその最中に、新たな素材や道具、遊具と一緒に準備したり、関わり方や新たな遊び方を提案したりしている」

と解説が付きます。同様に、5のレベルには「5-3 掲示や展示には、子供が現在興味を持っているテーマや話題と関連しているものが示されている。(例：クラスでの話題に関する写真や保育ドキュメンテーション等、季節の野菜や木の実の実物や写真、子供が参加した行事の写真)」、7のレベルには「7-3 現在の遊びや活動の写真や保育ドキュメンテーション等を通して、他の保育者と日常的に語り合って子供理解を深めている。★」等の指標があります。インタビュー指標の指標7-3では、保育者同士の語り合いや保育ドキュメンテーションの共有について保育者に尋ねて確認します。

質評価スケール案の配慮事項

最後に、実施上の配慮事項として三点挙げます。第一に自由に遊ぶ時間のある日程での観察が必須です。「項目Ⅲ 主体的な遊びや活動の援助」等にも大きく影響します。第二に質評価スケール案の評点を慎重に扱うことです。数値化は分かりやすい一方でリスクも大きく、数値化によって評定に至るまでの様々な背景がこぼれ落ち、丁寧な意見交換が困難になる場合もあります。評点を利用した安易な序列化も避けるべきです。そのため、私たちは基本的に評点を伝えず、当日の良かった点や、課題点を改善する方向性等を伝えて共に考えるようにしています。第三に複数での共同観察や協議、保育者へのインタビュー、フィードバックを推奨しています。複数の視点から観察し意見を交わすプロセスこそが重要と考えます。

今後も、日本の幼児教育・保育の文化や文脈に沿って、海外の質評価スケールや他の評価方法と共存し、選択肢の一つとして、研究や研修等で活用されるよう、更なる検討と改善を重ねたいと思います。

【引用文献】

注1：秋田喜代美。(2022) 今なぜ保育の質評価を問うのか：保育の質評価の国際的動向の見取り図。秋田喜代美・古賀松香編著『世界の保育の質評価：制度に学び、対話をひらく』(pp.11-25)。明石書店。

国立教育政策研究所。(2023) 『平成29-令和4年度プロジェクト研究「幼児期からの育ち・学びとプロセスの質に関する研究」報告書・第2巻：幼児教育におけるプロセスの質に関する研究』。

報告書QRコード



保育施設
導入実績 **No.1**

IP無線機 伝シリーズ
— ニシハタシステム —

災害対策で
2,500園以上が導入!



**園業務のお悩みを
IP無線機で解決!**

無料お試し実施中!

0120-775-956
株式会社 **ニシハタシステム**



機構からのお知らせ

令和7年度第2期オンデマンド研修22コンテンツが新たに加わりました!

《オンデマンド研修概要》

- 申込期間：～令和8年2月26日（木）17時
- 配信期間：～令和8年2月27日（金）17時
- 申込方法：教職員登録の上、ゆたかなまナビよりお申し込みください。
- 研修スタンプ：研修受講後、3択5問の設問に回答し、80%以上の正解で研修スタンプを取得することができます。（追試は2回まで）
- 処遇改善等加算：対応しています。
- 受講方法：お申込後、ゆたかなまナビマイページに掲載の動画視聴URLより受講ください。
- 受講料：研修によって異なります。ゆたかなまナビでご確認ください。
- 支払方法：クレジットカード決済／コンビニ決済



	講演名	講師名／肩書	時間数	俯瞰図番号
NEW	災害時保育教諭が『セルフコントロール』のためにできること2	山口 慎介(おおいたパパくらぶ 代表、大分県 防災アドバイザー 他)	2.0	A3
NEW	保育者と幼児の主体性を育む～主体的・対話的な保育と園内研修～	鈴木 正敏(兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授)	2.0	B2
NEW	ECEQ®講座 初級編～ECEQ®を解き明かす～	箕輪 潤子(武蔵野大学教育学部幼児教育学科 教授、武蔵野市子どもプラン審議会 副会長 他)、 藪 淳一(ECEQ®・評価チーム長)	1.0	B2
NEW	労務上級2	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B4
NEW	労務上級3	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B4
NEW	園らしい人材を育成する キャリアパスの考え方	杉村 基樹(株式会社ネクサス 代表取締役)	1.0	B6
	労務初級1	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
NEW	労務初級2 ver.2	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
	労務初級3	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
NEW	労務中級1 ver.2	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
	労務中級2	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
	労務中級3	安岡 知子(株式会社福祉総研KYOSTAコンサルチーム/社会保険労務士法人人財総研 他)	0.5	B6
NEW	幼稚園の歴史から学ぶ幼児教育【改訂版】	塩路 晶子(鳴門教育大学高度学校教育実践専攻幼児教育コース/教育実習総合支援センター 教授)	1.5	C1
NEW	認定こども園・新制度の現状と諸課題について	高辻 千恵(大妻女子大学家政学部児童学科児童学専攻 准教授)	1.0	C3
NEW	①子どもの姿から出発する保育②子どもの理解と保育者の専門性	中橋 美穂(大阪教育大学教育学部総合教育系 教授)	2.0	D1
NEW	生き物との関わりから見る「愛着」とは	渡邊 はるか(別府大学短期大学部初等教育科 講師)	1.0	D1
NEW	インクルーシブな保育導入のススメ～多様性を受け入れる保育実践～	若月 芳浩(玉川大学教育学部乳幼児発達学科 教授)	1.5	D3
NEW	SDGsへの実践(ESD)を通して主体的・対話的で深い学びの保育へ	青木 一永(社会福祉法人榊協会 副理事長/大阪総合保育大学 非常勤講師 他)	1.5	E1
NEW	あそびのなかの育ちや学び	田澤 里喜(玉川大学教育学部教育学科 教授、東一の江こども園 園長)	1.5	E2
NEW	実践の評価	飛田 隆(茨城キリスト教大学文学部児童教育学科 教授)	2.0	E7
NEW	子どもの育ちを下支えする連携と心理・保育の協働による教育相談の理論と実践	伊藤 千裕(株式会社東京ソーレ 心理士、(公社)静岡県私立幼稚園振興協会 子育て支援カウンセラー 他)	1.5	F1
NEW	「ホンモノ」に出会える美術館でワクワクが止まらない!～幼児期に五感をフルに使ってイメージを広げよう～	榎本 寿紀(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団大分県立美術館(OPAM)学芸企画課教育普及室 室長)	1.5	F3

令和7年12月に新コンテンツを配信する予定です。
ゆたかなまナビをチェックして、研修の受講をご検討ください!

配信コンテンツにはすでに都道府県私立幼稚園団体等で配信したコンテンツも含まれておりますので、お申し込み時にはご注意ください。
詳細については右記のQRよりご確認ください。



(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構監修 / 「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト」を用いたオンデマンド研修

主催 / (一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

協力 / 中央法規出版株式会社

《オンデマンド研修概要》

- 申込期間：令和7年6月20日（金）10：00～令和7年7月14日（月）17：00
- 配信期間：令和7年8月1日（金）10：00～令和7年8月29日（金）17：00
- 申込方法：教職員登録のうえ、以下のQRコードまたはゆたかなまナビよりお申込みください。
- 研修スタンプ：研修受講後、3択5問の設問に回答し、80%以上の正解で研修スタンプを取得することができます。（追試は2回まで）
- 処遇改善等加算：対応しています。
- 受講方法：お申込後、ゆたかなまナビマイページに掲載の動画視聴URLより受講ください。
- 受講料：本研修の受講にあたっては、当機構監修「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト」が必要になります。本テキストをお持ちかどうかによって、申込の枠と受講料が下記の通り異なります。
なお、本テキストは、お一人様一冊ずつご用意のうえ、ご受講ください。
- 支払い方法：クレジットカード決済 / コンビニ決済

枠	申込内容	受講料
①	すでに、当機構監修「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト」をお持ちで、テキストを購入されない場合	6,000円
②	まだ、当機構監修「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト」をお持ちでなく、本研修の受講料の支払いにより新たにテキストを入手される場合	8,530円

保健衛生・安全対策

- 講師
 古城 恵子 先生 / 帝京短期大学生活科学科 教授
 小林 美由紀 先生 / 白梅学園大学 名誉教授・小児科医

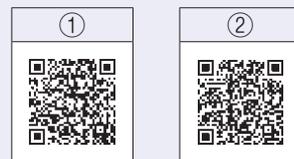
- 研修時間数
3.0時間
- 俯瞰図番号
A2



食育・アレルギー対応

- 講師
 小野 友紀 先生 / 大妻女子大学短期大学部家政科食と栄養コース、大妻女子大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻 准教授
 酒井 治子 先生 / 東京家政学院大学人間栄養学部 教授

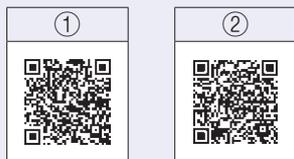
- 研修時間数
3.0時間
- 俯瞰図番号
A5



特別支援教育

- 講師
 加藤 篤彦 先生 / 武蔵野東第一幼稚園・武蔵野東第二幼稚園 園長
 守 巧 先生 / こども教育宝仙大学こども教育学部 教授

- 研修時間数
3.0時間
- 俯瞰図番号
D3



乳児保育

- 講師
 細井 香 先生 / 東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科、東京家政大学大学院児童学児童教育学専攻 / 人間生活学専攻 教授
 工藤 佳代子 先生 / 東京家政大学ナースリールーム 施設長
 箕輪 潤子 先生 / 武蔵野大学教育学部幼児教育学科 教授

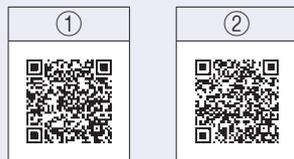
- 研修時間数
3.0時間
- 俯瞰図番号
E2



マネジメント

- 講師
 井上 真理子 先生 / 洗足こども短期大学幼児教育保育科 科長補佐 / 教授
 亀ヶ谷 元讓 先生 / 学校法人亀ヶ谷学園認定こども園 宮前幼稚園・宮前おひさまこども園 副園長
 安達 讓 先生 / 学校法人ひじり学園 理事長 / 認定こども園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいる保育園 園長
 井内 聖 先生 / 北海道文教大学 客員教授

- 研修時間数
3.0時間
- 俯瞰図番号
B6



こちらのテキストを使用しての講座です



第16回

【テーマ】「一人ひとりの『こどもがまんなか』をまもる質の高い幼児教育を」
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

参加申込がはじまります！

実践を語り合う場（研修）
にたくさんの参加を
お待ちしております。

幼児教育

【趣旨】幼児教育の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、
子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、2010年、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、
現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う
- ②生きた研修のメイキングの仕方を学び、全ての園の園内研修の充実を目指す
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

実践学会

【期日】 2025年8月19日（火） 基調講演・園内研修のメイキング
20日（水） 口頭発表・ポスター発表

【基調講演】

中等・高等教育の本質から見通す幼児教育の未来
—子どもの健やかな育ちの現在と未来を考える—

講師：大澤 力 氏（東京家政大学大学院人間生活学総合研究科児童学専攻/
東京家政大学大学院人間生活学総合研究科人間生活学専攻客員教授）

【園内研修のメイキング】

園のよさ・思い・願いをつなぐ園内研修と評価

講師：箕輪 潤子 氏（武蔵野大学教育学部幼児教育学科教授）



【協力】全日本私立幼稚園連合会

【会場】東京家政大学 板橋キャンパス（〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1）

【参加資格】幼児教育関係者

【定員】650人

【参加費】8,000円

【問い合わせ先】（参加の方法、研究発表の方法、学会内容など）

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階

メール：info@youchien-kikou.com



↑ゆたかなまナビ
お申込みページはこちら



開催案内・参加申込については当機構HPからもご確認いただけます。

URL：<https://youchien.com/practical-society-16>

○学会への参加者申し込み期間は、2025年6月6日（金）15時～6月25日（水）17時までです